

審判上の確認事項

1. 本大会は2015年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則によって行う。
ただし、ネットの高さは男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 試合間はすべて5分間の合同練習の後、プロトコールに入る。公式練習は3分ずつ、合同の場合は6分間とする。
3. 監督はプロトコール前、キャプテンはトス終了後、記録用紙にサインをする。
4. 監督は、ベンチの最も記録席寄りに位置する。
5. タイムアウトを要求できるのは、監督である。なお、監督が要求する場合は、発声し、ハンドシグナルは立ち上がって明確に示すこと。
6. 競技者交代は、クイックサブスティテューションとする。交代選手は競技者交代ゾーンで双方片手を上げ、副審・記録員の確認後交代する。ただし、リベロプレーヤーの交代については、バック・ゾーンのサイドライン上で一旦静止し、双方片手を上げて速やかに交代すること。
7. セット間・タイムアウト時に選手はベンチ付近まで戻ること。
8. ベンチの選手はベンチに座るか、ウォームアップエリアで待機し、ボールは使用しない。
9. 審判への牽制、非スポーツマン的言動は、ベンチを含め厳に慎む。質問がある場合はゲームキャプテンが行うこと。
10. ワイピングは、コート内の選手が、自分が持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。
11. 全試合ワンボールシステムで行う。
12. プロトコールについて
 - ① ネット、コート の点検
 - ② 記録席前でキャプテントス
 - ③ 公式練習、ベンチメンバーの確認
(公式練習時、リベロプレーヤーはリベロジャケットを着用しない)
 - ④ エンドライン整列(エントリー選手全員)、握手
(エンドライン整列時、リベロプレーヤーはリベロジャケットを着用する)
 - ⑤ 線審は各ポジションに位置する。
 - ⑥ 握手の後それぞれのチームは一度ベンチに戻り、その後スターティングプレーヤーはコートに入る。
 - ⑦ ゲーム開始
 - ⑧ ゲーム終了
 - ⑨ エンドライン整列(エントリー選手全員)、握手、キャプテンサイン、解散
13. (公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについてを適用する。